

## 第3回ミニサッカー大会 ハッスルプレーの連続で大成功!

第3回神戸ミニサッカー大会は、9月15日、磯上球技場に156チーム、1,800人が参加して盛大に行われた。同大会は本紙の100号発行を記念して3年前から毎年行われているもの。今年は社会人16、中学生24(内施設6)、小学生Ⅱ(5、6年上級)16、小学生Ⅲ(3、4年)24(内施設8)、小学生Ⅳ(1、2年)12(内施設2)、少女Ⅰ(5、6年)14(内施設3)少女Ⅱ(4年生以下)、障害者6、母親8(内母子寮の母親2)の各チームが参加、名プレー、珍プレーにグラウンドは盛り上がった。

試合は各部とも一次リーグと決勝トーナメントで争われ、218試合が行われた。

この大会が年を数えるごとに盛大になっているのは、①市内のサッカーに対する底辺が広がっていること。②誰でも気軽に狭い場所でもボールに親しまれること。③少年のスポーツマナーと社会参加のマナーづくりに役立っていることの3点が上げられると自負している。

神戸市協会では毎年行うことになっているが、他の都市協会でも行われることを期待している。

また、この大会に後援していただいた神戸新聞社、神戸新聞厚生事業団と協賛していただいたモンブラン株式会社、株式会社モルテンに対し、紙面をお借りして心からお礼申し上げますと同時に、サッカーの良き理解者の輪が、協会関係者ともどもさらに大きく広がっていくことを期待して報告とします。

(ミニサッカー実行委員長 高見 豊)

### 〈決勝トーナメント結果〉

|          |  |
|----------|--|
| 【社会人の部】  |  |
| 神戸FC' 70 |  |
| 灘 F C    |  |
| 神戸FC・A   |  |
| 神戸FCユース  |  |

|        |  |
|--------|--|
| 【少年Ⅰ】  |  |
| 鈴 蘭 台A |  |
| 多 井 畑A |  |
| ひよどり台A |  |
| 蓮 池A   |  |

第3回ミニ・サッカー大会の少年の部Ⅲ、母親の部に参加した神戸報国母子院、障害者の部に参加したのたに園から、協会へ次のような感想が寄せられました。今後一層サッカーの仲間の輪を広げてゆきたいと思います。

### 第3回ミニサッカー大会に参加して

神戸報国母子院 神戸 習子

胸をはずませて試合場に入った瞬間、すごい熱気でおどろきました。初めて試合に参加した我々は、少し緊張気味で、汗と砂ボコリでドロドロになりながら、ボールを追いかける一杯シュート。一生懸命頑張りました。

### 有宏スポーツ

東灘区御影本町4丁目11-9 ☎078(821)8449  
阪神御影駅南側西へ30m

### 塩谷スポーツ

兵庫区大開通7丁目5 ☎078(576)0870  
パンドウ化学南

### MEN'S SHOP MAC

三宮センター街店 ☎078(391)0895  
プレザージュ・トアロード店 ☎078(391)0896  
ドルチェ・マック・センター街店 ☎078(332)0141

### ヤノ運動用品

本 店 中央区三宮町3-8-1 ☎078(391)1121  
ファイブ店 中央区三宮町2-7-8 ☎078(331)4578  
六甲、長田、白川台、名谷、西明石、高砂、姫路、岡山

|         |  |
|---------|--|
| 【少年Ⅱ】   |  |
| 千 歳 B   |  |
| 桜 宮 B   |  |
| 高 倉 台 C |  |
| 成 徳 C   |  |
| つつじが丘 B |  |
| 福 住 B   |  |
| ひよどり台 B |  |
| 鈴 蘭 台 B |  |

|         |  |
|---------|--|
| 【少年Ⅲ】   |  |
| 和 田 岬 C |  |
| 鈴 蘭 台 C |  |
| ひよどり台 C |  |
| 神戸FC・E  |  |
| 高 倉 台 E |  |
| 成 徳 C   |  |
| 多 井 畑 D |  |
| 福 住 C   |  |

|         |  |
|---------|--|
| 【少年Ⅳ】   |  |
| 千 歳 D   |  |
| 多 井 畑 E |  |
| 高 倉 台 G |  |
| 木 津 D   |  |

|       |  |
|-------|--|
| 【少女Ⅰ】 |  |
| 木 津 A |  |
| 福 住 A |  |
| 池 田 A |  |
| 有 野 A |  |

|       |  |
|-------|--|
| 【少女Ⅱ】 |  |
| 木 津 B |  |
| 福 住 C |  |
| 桜 宮 B |  |
| 夢 野 C |  |

|         |  |
|---------|--|
| 【中学生の部】 |  |
| 灘 中     |  |
| 広 陵     |  |
| 太 田     |  |
| 有 馬     |  |
| 本 山     |  |
| 滝 川     |  |
| 神戸FC・B  |  |
| 魚 崎     |  |

|          |          |
|----------|----------|
| 【障害施設】   |          |
| 神戸学園 1-1 | みのたに園    |
| 【母親】     |          |
| 木津ママ ①-1 | 神戸FCマミーズ |

キーパーの子は、転びながらボールに飛びつき、相手の得点を最少限に喰いとめる健闘をみせました。しかし、力及ばず負けてしまいました。又、お母さんチームは、子供チームに負けない様不安の中戦いました。足がふるえている人、体がコチコチの人もあります。それでも体中でボールにくっついていました。第一試合、第二試合と慣れるにしたがい度胸もでき、素晴らしい展開を見せてくれましたが、後半、日頃から運動をしていない事もあり、足がもつれてきました。残念ながら、第三試合は棄権を致しました。子供チーム、お母さんチーム、一つの成果をなしたと喜びで、来年に向かい燃えています。

### オウビ

中央区琴緒町4-4-5 ☎078(242)3667  
国鉄三宮駅北側神戸経理専門学校斜め前(田上ビル1階)

### スメラ

湊川店 湊川プラザ2階 ☎078(511)2234  
鈴蘭台店 タイエー西側 ☎078(592)0470

### 加茂トアロード店

中央区三宮町3-8-8 ☎078(392)0234  
国鉄元町駅南側東へ100m

### マヤスポーツハウス

灘区森後町1丁目8-8 ☎078(841)8811  
国鉄六甲道駅北 兵庫信用金庫六甲支店山側

### ワールドスポーツ

東灘区深江北町4丁目7-3 ☎078(453)2186  
阪神深江駅北側信号西

### 第3回神戸ミニサッカーに参加して 精神薄弱者施設めのたに園

永井照行

我がみのたに園は、今年4月に開所したばかりの出来たての障害者(精神薄弱者)施設でミニサッカー大会に備えて十分な練習も出来ないまま初参加し、思いもよらず勝利に園生はもとより、職員一同喜んでいました。

大会当日、球技場に入るやいなや、ほこりまみれのグラウンド中で所狭しと走り回る小学生、中学生、社会人、お母さん、チームのファイトいっぱい熱いプレーに圧倒され、自分達がうまくプレー出来るかと、心配げな園生達には、大丈夫と勇気付けるだけでしたが、いざ試合が始まると、皆夢中になり、ボールをパスし、シュートしました。

最初のBブロックリーグ戦では、接戦の末古豪?の玉津むつみの家、あけぼの学園に勝ちましたが、決勝トーナメントでは強豪の神戸学園と対戦し、試合が始まり、1点先行したものの、終始押され気味に試合が進み、終了間際に同点に追いつかれ、引き分けになり、結局じゃんけんで勝ち、トロフィーをいただく事になりました。

最初やシュートの基礎技術や、ルールの理解も不十分のまま参加し、お手数をお掛けしましたが審判員の方々を始め、大会役員の方々のあたたかい御理解を得、障害者施設の部の参加者は、楽しいひとときを過ごす事が出来ました。

サッカーは万国共通のスポーツであり、人々と国々を結ぶフットボールという言葉の様に社会の人々と共に、施設の園生達もサッカーを楽しむ事が出来ました。

本当にありがとうございました。これから来年の大会に向け、今回明らかになったいくつかの課題に取り組み、次回には少しでも質的に高いサッカーが出来る様に頑張りたいと思います。

### 「審判員は紳士であれ!!」

レフェリーを志す人へ  
ワンポイント・アドバイス——⑤  
市協会審判委員長 藤田 利 明

信頼される審判であるためには、尊敬される人格の持ち主でありたい。

普段の生活においても模範的でありたいものだが、特に試合場内に入ってから自分の言動には注意が必要である。

一方の選手となれなれしく話をして、他方の選手の誤解を招いたり、その他選手から反感を買うような言動があれば、試合が始まる前から、もはやそのゲームの審判としては失格であるといえる。

ご存知のように、サッカーのルールは17条までしかありませんが、第18条は“common sense(常識)”であるといわれています。

これなどもサッカーに対する審判員としての人間性を重く見た言葉のように思えます。

### 神戸市社会人運営会議予定 次回 11月17日(木)

12月15日、1月19日、2月16日

3月15日、3月22日

いずれも木曜日、18時30分から王子登山研修所。社会人リーグに参加している各チームの代表者が必ず一人出席して下さい。

### 個人購読のご案内

弊紙を個人で購読ご希望の方は、1年分として70円切手12枚を同封のうえ、次のところへお申し込みください。

〒650 神戸市中央区八幡通2-1-10  
三木記念神戸市立スポーツ会館内  
神戸市サッカー協会 ☎078-232-0753

なお、数人分まとめて申し込まれる場合は割引がありますのでご連絡ください。



ユ・ハイム

神戸兵庫ライオンズクラブが後援する第5回同クラブ杯争奪少年大会は、8月28日から御崎少年サッカー場で開幕され、1部(小6以下)56チーム、2部(小4以下)30チーム、3部(女子)19チーム 計105チームが参加して熱戦がくり広げられた。

最終日の10月16日は、各部の決勝戦と3位決定戦が行われ、その結果、1部は神戸FC・Aが2年連続4度目の優勝を、2部は多井畑Dが3年連続3度目の優勝を、3部は有野が初優勝をそれぞれ果した。

閉会式では、神戸兵庫ライオンズクラブ会長渡辺信治氏から各優勝、準優勝チームに同クラブ寄贈の大きなカップが、3、4位チームにトロフィーが贈られた。

なお、1、2部優勝、準優勝チームは、11月6日、13日の両日竜野市で行われる第16回県少年大会へ市代表として出場する。

### 1部神戸FC・A 2年連続4度目の優勝



△1部優勝の神戸FCボーイズA

### ▶1部決勝(10月16日、御崎少年)

神戸FC 3 { 0-2 } 2東灘A  
ボーイズA { 3-0 }

1部決勝は、優勝候補の千歳Aを準々決勝で破った古豪東灘Aと、夏以降チーム力をめきめき向上させた神戸FC・Aとの戦いになった。立ち上がりから決勝戦らしい好ゲームとなり、小さくパスをつなぐ神戸FCと、キックアンドラッシュで攻め込む東灘が激しい攻防を見せた。先取点は、前半8分、東灘が左からのセンターリングをうまく合わせて上げた。勢いに乗る東灘は15分にも神戸FCのミスをついて追加点を上げ、東灘優勢の内に前半を終了した。しかし、これまで数多いチャンスがありながら得点に結びつかなかった神戸FCが、後半がぜん反撃に出た。まず5分に右CKを頭でうまく合わせ2-1とし、8分にはLW北田のセンターリングをCF小野山がヘディングで同点とした。その後、両者一進一退のまま延長戦にもつれ込むかと思われた終了1分前、LW北田がドリブルでうまく中に切り込み右WSに決勝の逆転シュートを決め、神戸FCが東灘を下した。

なお、5年生中心のチームながら4位に入った千歳Cは、選手の粒がそろっており、来年度が非常にたのしみなチームだった。

### 2部多井畑D、見事3年連続優勝

### ▶2部決勝(同)

多井畑D 1 { 1-0 } 0 神戸FC・D  
0-0

4年連続同じカードになった2部決勝は、多井畑が前半に上げた1点を守り、見事3年連続優勝を飾った。

立ち上がりは、神戸FCがペースをつかみ



### 第15回 神戸兵庫ライオンズ杯争奪少年大会



△1部決勝、神戸FC・A対東灘A  
シュートを放つ神戸FCの仲野勝也

### 白熱の好ゲーム...各部決勝



△2部優勝の多井畑D

攻め込んだが、シュートが悪く得点に結びつかない。逆に多井畑は逆襲からRWがうまくBKをかわしてシュートを決めた。その後神戸FCも激しく反撃したが、あせりからかゲームが雑になり、同点に追いつくことができなかった。

### 3部 有野女子A、初のタイトル獲得



△3部優勝の有野女子A

### ▶3部決勝(同)

有野女子A 2 { 1-0 } 0 高倉台女子A  
1-0

ボールの持てる岡田を中心に攻守にバランスのとれた新鋭有野Aと、チームワーク良く4年連続決勝進出の高倉台Aの決勝戦は、女

子としてはずば抜けた力を持つ有野のエース岡田が、前後半に1点ずつを上げ、高倉台を破った。準優勝にとどまったが、4年連続決勝に進出した高倉台の活躍は立派だった。(岡)

### 〈1部結果〉(3回戦以降)

|        |        |  |
|--------|--------|--|
| 八 多 A  | 0      |  |
| 鶴 越 A  | 1      |  |
| 千 歳 C  | 1      |  |
| 渦が森 A  | 1      |  |
| 鈴蘭台 B  | 1      |  |
| 東 灘 A  | 4      |  |
| 蓮 池 A  | PK 8-9 |  |
| 千 歳 A  | ①      |  |
| 神戸FC・A | 11     |  |
| 桜の宮 A  | 1      |  |
| 福 住 A  | PK 2-3 |  |
| 成 徳 A  | ①      |  |
| 神戸FC・B | PK 4-5 |  |
| 神楽台 A  | ①      |  |
| 千 歳 B  | ①      |  |
| 鈴蘭台 A  | 2      |  |

### 〈2部結果〉(3回戦以降)

|        |   |  |
|--------|---|--|
| 多井畑 D  | 2 |  |
| 木 津 C  | 0 |  |
| 神楽台 C  | 3 |  |
| 桜の宮 C  | 2 |  |
| 神戸FC・D | 2 |  |
| 多井畑 F  | 0 |  |
| 東 灘 C  | 1 |  |
| 千 歳 E  | 3 |  |

### 〈3部結果〉(3回戦以降)

|       |        |  |
|-------|--------|--|
| 福 住 A | PK 1-1 |  |
| 北五葉 A | ①      |  |
| 木 津 A | 2      |  |
| 高倉台 A | 3      |  |
| 有 野 A | 1      |  |
| 桜の宮 A | 0      |  |
| 高倉台 B | 0      |  |
| 多井畑 A | 1      |  |



# 全国高校選手権 県代表校は？

## 58年度全国高等学校選手権大会県予選組み合わせ決まる

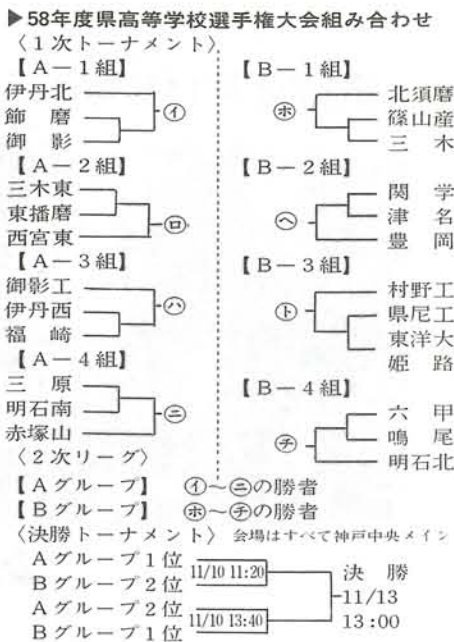
兵庫県高等学校選手権大会兼全国高等学校選手権大会県予選の組み合わせ抽せん会が、10月11日に行われ、県下7地区の予選を勝ち抜いた20校と県高校総体ベスト4の4校の計24校による組み合わせが次の通り決定した。

シード校は総体ベスト4の伊丹北、明石北、赤塚山、北須磨の4校となっており、2回戦から出場する。

1回戦は10月29日、2回戦は30日で、2回戦の勝者8校をA、B2グループに分けての二次リーグ戦が11月3日、5日、6日に行われる。二次リーグ両グループの上位2校が10日の準決勝に出場できる。決勝は11月13日、神戸中央球場で13時から行われ、この試合はサンテレビで放送される。

今回の組み合わせを見ると二次リーグで同じグループに入る左側に強豪が集まった感じがする。右ゾーンでの明石北、北須磨には、さほどの強敵は見当たらないが、最近レベルアップの著しい東播磨の三木、三木東らの活躍が注目される。左ゾーンでは2回戦で対戦が予想される伊丹北と御影、御影工と伊丹西、赤塚山と三原は実力伯仲の好試合が期待される。これらの勝者で争われるAグループの二次リーグも一戦一戦が好試合となりそうだ。Bグループからの準決勝進出は明石北と北須磨が順当に出てきそうだが、Aグループは、伊丹北、御影工、三原が激しい争いを演じそう。準決勝ではAグループチームがBグループの2校を倒して再度決勝で対決する可能性が高い。

優勝候補の筆頭は三原、それに続くのは、伊丹北か、御影工と思われる。三原、伊丹北が優勝すれば初優勝、御影工なら2年振り5度目の代表となる。

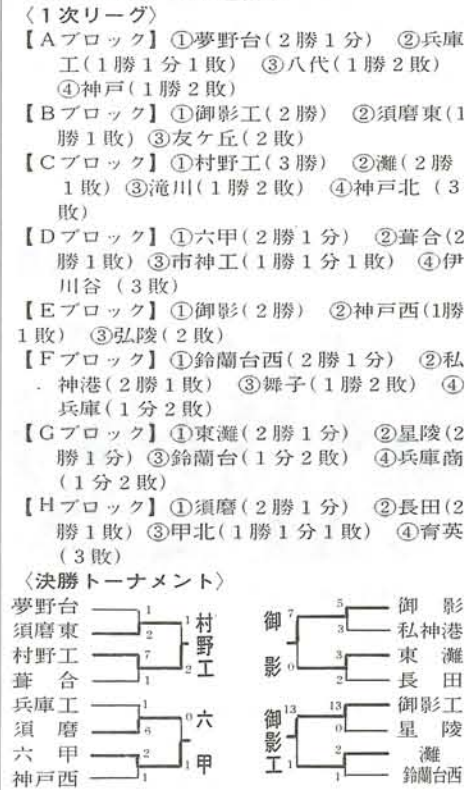


# 県大会へ6校出場 調子上げる御影工高

お正月の全国高校選手権大会に出場する県代表を決める県高校選手権大会に先立ち、その市予選が9月4日から、10月2日まで行われ、村野工、御影、六甲、御影工の4校が代表となった。なお、この4校のほかに、神戸市からは県高校総体でベスト4に入った赤塚山と北須磨が県大会に出場する。

市予選では、高校リーグで1部昇格を果たした神戸甲北や兵庫、そして、名門神戸高が1次リーグで姿を消したのは残念であった。一方、春から今一步調子の出なかった御影工は、ここに来てがぜん調子を上げている。代表となった6チームは、夏場から照準をこの大会に絞り練習を重ねてきたことと思われるが、その成果をいかに発揮し、好ゲームを展開されることを期待したい。

## 58年度県高校選手権大会兼全国高等学校選手権大会神戸市予選結果



## 県中学生選手権へ 神戸FC、本庄、西代、 六甲、桜が丘、布引 西神戸朝鮮

第17回兵庫県中学生選手権大会神戸市予選は、9月23日より、10月10日まで市内7会場で行われ、市代表7チームが決まった。代表となったのは、サマー・フェスティバルで優勝し、県下でもかなりの実力があると目される神戸FC。県中学校総体で準優勝した本庄。少年サッカーを基盤に急成長の西代桜が丘。中3の頑張る六甲、西神戸朝鮮、布引の7チームである。

県大会は10月23日からすでに始まっており、各チームの健闘が期待される。

〈県中学生選手権市予選結果〉

【A組】  
布引 ①  
星和台 ②  
鷹匠 ③  
太田 ④  
西落合 ⑤

【B組】  
東神戸 ①  
朝鮮 ②  
本庄 ③  
有馬 ④  
神大附 ⑤  
玉津 ⑥

【C組】  
灘 ①  
港島 ②  
鈴蘭台 ③  
西代 ④

【D組】  
魚崎 ①  
高倉 ②  
西神戸 ③  
朝鮮 ④  
滝川 ⑤  
須佐野 ⑥

【E組】  
桜が丘 ①  
歌敷山 ②  
垂水東 ③  
広陵 ④  
御影 ⑤

## 第17回県中学生選手権大会 し烈な優勝争い！ 神戸FCの勝者、一歩リードか 尼崎朝鮮

第17回兵庫県中学生選手権大会は10月23日より11月13日までの5日間、神戸中央球場ほかで行われる。

県下13支部予選を勝ち抜いてきた32チームは、それぞれ体力的にも戦術的にも優れたものを持っているが、3年生中心のチームと2年生中心のチームでは、やはり力の差がありそう。1回戦は10月23日に行われ、早くも昨年優勝の伊丹西が敗れるなど番狂わせが出ている。今年度より試合時間が前後半5分ずつ延長され、使用球も5号球となることから、戦術面で優れているだけでなく、強い体力を兼ね備えたチームが優勝への鍵を握っていると思われる。そういう意味で高校級とも思えるスピードを持つ尼崎朝鮮と神戸FCの勝者が他を一歩リードしそうだが……。一方では大庄北と瓦木の阪神勢が上位に顔を出してきそう。各チームの熱戦を期待したい。



充実のモルテン Tango

サッカー界の新しいスタンダードなデザイン

MTF&AD official ball for the 1986 FIFA World Cup Japan

molten Soccer ball Made in Japan

株式会社 モルテン

広島 / 東京 / 大阪 / 名古屋 / 福岡 / 札幌

# 日本サッカーに ルネサンスは起こるか？ (8)

枚方FC 近江 達

この連載は、雑誌サッカー・ジャーナルに連載されている枚方FCの指導者、近江達氏の随想をサッカー・ジャーナルのご好意で転載しております。

「日本サッカーの発展のためにはルネサンスにも匹敵する人間性の解放が必要である」と、近江氏はいうが……。

## 勝負、ゲーム、プレー

むろん、そんな内情は外人には分らない。「どうしてあんなにゴールへ直行を繰り返すのか、サッカーというのは、あっちへ行って戻って、また行って戻って遊ぶ。そうして相手の気を散らせて、すきができたら攻めこむゲームなんだ。日本は勝負だけで試合をしていて、ゲームをしていない」と言ったのは先刻のメノッティである。

「遊ぶ」とか、「ゲームをしていない」とかまたまた一癖ある発言だが、私には思い当たることがあった。

ワールドユース大会で、欧米の選手がトラップや持球をしているときと同じような頭の働かせ方でサッカーをしていることに、気付いていたからである。その点でも日本は完全に異質だった。

その後、調べてみて、なぜサッカーでの彼らの頭の働かせ方がトラップなどと同質なのか、合点がいった。

ゲームという言葉には試合、遊戯以外に駆け引きという意味があり、彼らにとってはトラップもサッカーも、建前ではなくて、完全に同じ意味でゲームだったのである。

もっと極端な例をあげると、ソ連ではチェスがスポーツに入っている。他国の記者に「おかしいじゃないか」と言われて、「だって、チェスも頭を使うゲームなんだから、立派なスポーツさ」とあの野暮天のソ連人が澄まして答えたものである。これなど彼らのスポーツ観がはっきり分る。

プレーという言葉にも、試合で競技する、勝負を争うなどのほかに、いろいろ意味があり、音楽の演奏も、芝居の演技も、子供のように遊ぶのもプレーなのである。

これで、メノッティがなぜ「行ったり戻ったりして遊ぶ」とか、「日本人は勝負だけでゲームをしてない」と言ったのか、どうやらなぞ解きができたようである。

たしかに日本サッカーでは、相手をだますとか、駆け引きとかは、ほとんどない。それどころか、大多数の選手は、いかに反則をレフェリーに見つからぬように巧くやるとか、相手のフリーキックを遅らせるといった細工が駆け引きだ、と思っている節がある。相撲は押しや寄りだけが正統派とされているが、日本サッカーで無策な猪突猛進が多いのは、これこそ堂々たる押し相撲でほかは邪道だ、という気持ちがあるのかも知れない。

こうして比較考察してみると、どうやら彼等のサッカーの内部構造の相違が徐々に浮び上ってきたようである。

## 伝わりにくい本質

それにしても、欧米との盛んな交流にもかかわらず、そうした本質的なことが伝わっていないのは不思議なようだが、それはサッカーに限らずほかの分野でも似たりよったりである。要するに、理論、バスターク、キックの仕方といった伝わりやすいものばかり伝わって、伝え難いものは伝わらないのである。

伝えるのも何も、たとえば駆け引きなど彼らにしてみると当たり前すぎて、わざわざ教えるほどのことではないのである。それは幼時から彼らの社会生活に不可欠なので、日本のように駆け引きのない民族がいるなんて夢にも思っていないわけである。

何事でもそうだが、目に留まるのはサッカーという木の地上の部分に過ぎない。それもうっそうと茂れば幹さえ見えなくなる。まして木の根っ子の大切さを、単なる知識でなく実感し体得するには、掘り起してみたり、いろいろ実験したり、世話をして育てたりする以外に方法はあるまい。

本質的なものは、教えられ伝えられるのを待っていたて駄目である。自分で観察研究して盗みとり、失敗を重ねながら身につけて磨いていくよりないのである。

日本が外国のものをとり入れると、初め良くて、だんだん悪くなる。入れたら、あと扉を閉ざして日本化してしまうからである——松田駿一

日本サッカーも創生期には健闘して、ベルリン・オリンピックで強豪スウェーデンを破って名をあげたが、いい感じになってきてこれからというときに戦争で中断。戦後、二回目の輸入と言うべきクラマー・コーチの指導でメキシコ・オリンピックで銅メダルをとったが、それ以後、もうひとつ振るわない。

実は、このように輸入当初が良くて次第にパッとしなくなるという例は、文化交流の分野では珍らしいことではない。たとえば絵画や音楽では、初めて西欧の技法が入ってきた明治時代、非常に優れた作品が生まれたが、その後はもうひとつさえない。

輸入の初期には本場のいきのいいものが入ってくるし、こちらの意気込みも違う。芸術家が外国で良い仕事ができるのは、本場の芸術的風土や作家、作品に触れることができるからである。外人コーチに指導される場合は説明するまでもない。

要するに、直接ないしそれに近い形で教えを受け学習する場合は、本物の良さを吸収できて成果が上がる。

だが、その後それを受けついだ日本人指導

者が教えるようになると、どうしてもいろいろ違いがはじめる。さらに誰でも教えられるように方式化、組織化されて軌道に乗ると、当初外国や外人から直接学んだものとは内容が変質していき、二代目、三代目の頃には完全な和製に化けてしまう。

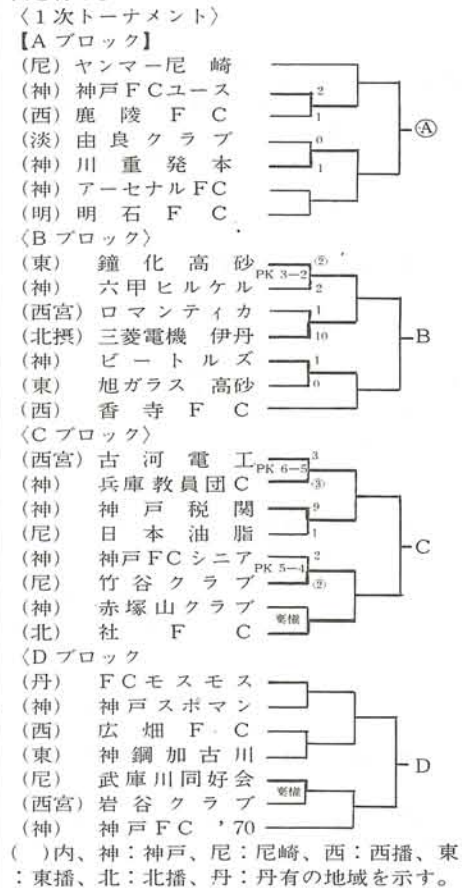
しかも、いったん日本化が完成すると、必ず初心や柔軟性は消滅して頑迷な鎖国世界が確立する。次に述べるのはその好例である。(つづく)

## 県リーグを目指せ！ 都市リーグ決勝大会始まる

兵庫県リーグ昇格を目差し、各都市リーグ上位チームが参加して争われる58年度県社会人都市リーグ決勝大会が、10月9日より開幕された。

参加したのは県下11地域の都市リーグ代表29チームで、4ブロックに分かれた1次トーナメントの後、他ブロックの2位と1次トーナメント代表決定戦を行い、その勝者で準決勝、決勝、3位決定戦が行われる。

優勝すると県リーグへ自動昇格し、2位は県リーグの10位と、3位は同じく7位と入替戦を行う。



「サッカー・教え方、学び方」休載しました。次号より引き続き掲載します。

明日の栄光を勝ちとれ!

markam®

80年代をリードする  
サッカーウェア

younger®

サッカーの基本プレーを徹底的に追求し、機能性を第一に考えたサッカーシューズ「マークカムシリーズ」

マーカム33  
標準小売価格 ¥7,900

株式会社 モンブラン

リアル・スポーツの追求  
モンブラン株式会社  
神戸・東京・福岡